

### 潮聲併座 其ノ一

十二月十三日平ズナシオン前益子屋  
旗亭にて  
伊坂香雨翁祝賀記念俳句  
喜壽の賀や盆かはす菊の酒 自賀  
登む秋空に舞ひ遊ぶ鶴 守松  
楼に今宵の月を待ちけりて 香雨  
うからやからの聲も賑はし 文狂  
舞臺をせましと敷きひらけり 江心  
年の内から春は立ちけり 北窓  
老僧は何につけても氣短かに 狂  
追ての風に帆を孕む、船 狂  
汗の涙みたる、編笠の紐 狂  
暫し見ぬ内に庭木の茂り合ひ 狂  
好た縁とて早うとまとまる 狂  
厚化粧月に向ふも、羞かしく 狂  
色あさやかな葉難頭かな 狂  
かねてより目をつけて置く虫撰み 狂  
門を訪つる落柿舎の庵 狂  
花は今咲きも残り盛に 狂  
樂しき昭和朱の年の春 狂

稀にまれ重着したる紙衣かな 東京老風堂 機一  
萬歳とことと菊の壽宴かな 京都旭翠原 素秋  
老葉や酌めとも盡きぬ菊の酒 水戸 晋雪庵  
喜久の酒不老長壽の樂かな 守松  
壽の末長かれや、隱君子 柳  
日章旗得たり花火の、香の強ふ 柳  
香港の朝日ならふ御慶かな 柳  
喜久咲くや系圖正しき翁か圖 柳  
喜久の秋、清津のサヨリ、酔に和らん 柳  
松風の鶴に時雨れて日は高し 柳  
菊の酒くみて酒、かきかな 柳  
香にいてて老せぬかうれし翁菊 柳  
色かへぬ松とて雨を汲みとり 柳  
縁の菊佳き名をもち香るなり 柳  
喜雨折々 柳  
千年までそのたのもし、松の花 柳  
大輪に腰もたしかや、翁菊 柳  
このさきも盡ぬ眺を花野哉 柳  
千年経る松の緑りや落社 柳  
菊の香や露は今日の宴 柳  
盆にうつら笑顔や、翁の宴 柳  
菊の香に壽祝ふ主かな 柳  
喜ひの庵に氣高し冬牡丹 柳

刊行日 十月八日  
代訂 大田隆吉  
電話 3333  
本社 新報社  
東京市千代田区  
日比谷 三丁目 三番地

拈華微笑  
戦友玉碎の瞬間  
無しの袖は振られ  
財産を押しへられ  
戦友玉碎の瞬間  
財を失ふの苦悶  
無しの袖は振られ  
財産を押しへられ

師走の街に  
池上富司  
ゆふがたの燈つければ、そはそと部屋にあられず  
街に出て行く  
街に行く癖の癖づけばこがらし吹くもまたたけな  
きよ  
一つ一つおさういんどを見てゆくに師走の街  
におさる心はこころ

く山河越え来し旅の意なくて  
喜壽を迎いし大を祝はむ  
一、香魚之圖 大色紙 石長 貴  
一、畫巻之圖 細短冊 松青 堂  
一、栗の實圖 細短冊 松青 堂  
一、酒の香の走る山家の良家哉 松青 堂  
一、梅に佛子柑 半切 東京 秀 穂  
書畫 これからを富む春秋や月と花 柳

艶女長兵衛  
東宮 斯波南夏  
(魚崎潮書)



野崎横之進は思はず娘の  
花を顔に見合せました  
寺西四郎の来る迄お籠と  
二人で婿の相談を交わし  
術を思つて居た心を察し  
に掛けてもお前と夫婦に  
て遣らうと言つて居た、  
れが女だと成つては何も  
らない驚いて顔を見合せた

のは當然の事... 閑は...  
は驚きでござらうが...  
西関心は必らず自達ひで  
無いと存するが、其許は  
うだ「横」はは變つた事  
を承はる、拙者は左様  
は無に正しく男だと考へ  
居るが「閑」拙者が斯う  
つても聊かおこころ着き  
に成るころは無いかな...  
「左」は女にしては餘り  
腕前が出来過ぎるし度胸  
も大き過ぎる、只顔形が  
餘りに優しい為めに、人  
呼んで女長兵衛、是れは  
隨院長兵衛と區別する  
申すに過ぎない何うして

日用品値段(毛糸系)  
△一〇三〇〇 婦人講座  
(多事なりし昭和六年の終  
りに満洲婦人の難處) 片  
山哲  
△正午 時報  
△二〇〇五 ジャズ獨唱  
付ペンサイト・ジャズ  
バンド  
△四〇〇〇 ニュース 氣  
象通報 告知事項  
△三三〇〇 氣象通報  
△四四〇〇 ニュース  
△五五〇〇 今晩の番組預告  
△六六〇〇 (子供の時)  
お話と歌と吹奏樂 仙臺  
中央少年團員

陽毒  
淋病 皮膚病 淋病  
皮膚病 淋病  
淋病 皮膚病  
淋病 皮膚病

井阪醫院  
午後七時より  
午後八時より  
午後九時より  
午後十時より

釜屋商店  
磐城セメント特約代理店  
和洋銅物

波野醫院  
診察時間  
午後七時より  
午後八時より  
午後九時より

金輸出再禁止と  
三井の大奉仕  
三井呉服店

岩波別荘  
金輸出再禁止に伴ひ商品市價は暴落を來す事  
存じます。弊店では幸ひに安價品豊富に仕入  
げ致さるは勿論在座品は一律お勉め致す懸望に  
御座います。年未開始の御用は幸三井へ御用  
命の程備に願申上げます。

安齊外科醫院  
看護婦募集  
石炭經濟理想的ストーブ  
ソラ石炭石立場ヨリ多年研究試験結果  
フクロクストーブニ優ルモノナシ

阿部石炭商店  
ストーブ御買入ノ際ハ是非御相談下サイ  
カタログ持参御説明申シ上マス  
電話二二七番

市原醫院  
内科 小兒科 市原卯太郎  
外科 一般 婦人科 市原陸郎  
外科 梅毒 淋疾 市原三三男  
平町田町本通

市原醫院  
内科 一般  
外科 梅毒 淋疾  
平町田町本通

本社の慰問に對する謝狀一束

お蔭で後顧の憂無く 日本男兒の意氣を揚ぐ 同胞の支援感激の外なし! 川前出身旗護兵根本倉太君

今般御軍等、織城、皇國の爲に勳天出で、二十三日南滿洲の... 貴社發行の報新御報、確かに、送下され有難く御禮申上...

玉碎した佐川君

頼まれた骨の事が現実に... 植田 根本吉躬君 (出身)

六年度災害復舊工事 川部失業者救済工事完成 今十八日竣功検査

失業者を救済 縣から町村へ通牒 他、失業救済の爲に此町では夙も同調會が率先...

匿名の女性が 年末の救済資金へ 係官も其陰徳に感激

忘年会を樂みに 受難の師走を泳ぐ 平町花柳界近況

古野金通帳買占め 再た二名を検挙 徹底的に取締り續行

積極的に出て 役場の窓口で喘ぐ ナルコボン中毒男 薬を恵まれて南へ去る

本縣知事決定 命休職 任福島縣知事 元北海 村井八郎

月謝の滞納に 手を焼く町當局 學校へ整理方を交渉

成人謝恩 四倉の小林氏 四倉町新町新松本屋

圓谷氏の美譽 四倉町町長定治郎氏は此程物故した母室の遺言により

在滿慰問金品寄贈 役員其他各團體昨報後分

人事係新設 係長に小山田氏 入山炭礦

事務監査 炭礦 坂梅吉、渡邊得男諸氏一行



各地情報ニユース

△爆薬心中。長門縣西彼身は粉微塵となつて即死... 炸彈坑夫紙谷義一(三三)と同

△中隊にて。庄司君を慰問。四倉町で...

△貧困者の子弟を賑はす。町で防具具施典...

△貧困者の子弟を賑はす。町で防具具施典...

△貧困者の子弟を賑はす。町で防具具施典...

△貧困者の子弟を賑はす。町で防具具施典...